

## はじめに

長崎県は、九州の西北部に位置し、数多くの島々や半島で形成されており、海岸線の総延長は4,184kmで全国第2位となっています。また周辺海域は九州本土に匹敵する広さで、恵まれた広大な海域には好漁場が形成され、内湾から沖合までの海域では多種多様な漁業や養殖業が営まれています。

本県の海面漁業・養殖業生産量は32万5千トンで全国第3位、生産額は1,026億円で全国第2位(平成20年)と、全国屈指の地位を占めています。また、本県の水産業は、中小の造船業や食品製造業などの産業とも密接に関わり、基幹産業として地域を支えています。

これまで、「長崎県長期総合計画」の個別計画として、平成13年3月に策定した「長崎県水産業振興基本計画」及び平成18年3月に改訂を加えた「長崎県水産業振興基本計画後期5か年計画」に基づき、持続的水産業の確立に向け、漁船漁業や養殖業の構造改革などを進めてまいりました。しかし、本県水産業は、資源水準の低迷や魚価安に加え、海洋環境の変化、燃油や漁業資材価格の高騰など厳しい状況にあります。

こうした情勢の変化に対応するため、「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」を基本理念として、新たに「長崎県総合計画」を策定いたしました。その個別計画として、水産関係者や有識者による長崎県水産業振興基本計画検討委員会のご意見等を踏まえるとともに県議会におけるご議論等を賜わり、10年後の本県水産業のあるべき姿を見据えた、新しい「長崎県水産業振興基本計画(平成23年度～27年度)」を策定し、今後5か年の本県水産業振興の指針といたしました。

本県水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にありますが、水産業の6次産業化、収益性の向上など創意と工夫により水産業のさらなる発展をめざす取組を進めてまいります。また、本県の水産業を担う漁業者が未来に向けて夢を持ち、生産活動の拠点である漁村に活力と賑わいを取り戻せるよう、本県水産業に関わる関係者の皆様方と一体となって、水産振興策に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力、ご指導いただきました皆様方に改めてお礼申し上げますとともに、今後とも関係の皆様方のご協力とご支援、並びに県民の皆様の水産業に対するご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成23年3月

こぎ出せ! 長崎

長崎県知事 中村法道

